



早川 功

令和5年(2023) 2月28日

click [Isao Hayakawa 集まれ合唱!](#)
facebook公開グループ「集まれ合唱！」
に連載したものをまとめました

戦後間もなくから現在に至るまで常に第一線にあり続ける民間合唱団として神戸中央合唱団を挙げたいと思います。創設以来輝かしい歴史を築いた指揮者は中村仁策^{にさく}氏。

仁策氏は1912年生れで、1931年同志社高等商業学校在籍時に男声合唱団リーダークランツを立ち上げ初代指揮者となり合唱指揮者としてのキャリアが始まります（リーダークランツは現在も同志社大学公認の合唱団として活躍しています）。

太平洋戦争前は神戸の中央教会（現・栄光教会）の聖歌隊を率いていましたが戦争が始まると軍に招集され終戦時には満州にいて、ソ連の捕虜となりシベリアに抑留されるという体験をしています。大事なはその間も中央教会聖歌隊は仁策夫人を中心に存続しており、仁策氏の帰還を待っていたことです。

1946年に無事帰還した仁策氏は12月、その聖歌隊を基にして神戸中央合唱団を新たに立ち上げました。神戸中央の名前は教会の名前を引き継いだものでした。徐々に実力を蓄え、1961年の全日本コンクールでは男声合唱一辺倒であった一般部門で、混声合唱団として初の優勝を果たします。以降コンクールに於いては14回の優勝、金賞を重ね自他ともに認める日本を代表する合唱団に育て上げました。

1981年に日本ビクターで録音された大中恩の「島よ」を紹介します。1977年に全日本合唱コンクール30回目の記念全国大会が東京で開かれ、神戸中央は前年までの3回連続金賞を受けた招待演奏（3回連続金賞団体の招待システムはこの大会以降廃止されました。手前みそですが最後の招待演奏はこの翌年の函館大会で、法政アカデミー合唱団の後輩たちが法政大学交響楽団を引き連れてシューベルトのミサを歌うというものでした。指揮は福永陽一郎）で得意とするピツェッティの「レクイエム」を披露するという全盛時代だったと言えるでしょう。

録音に起用されたピアニストは仁策氏の子息の健^{けん}氏でした。健さんは幼少時より天才的な音楽の才能を発揮し、神戸中央では小学生の頃から時々練習ピアノを弾いていたそうです。芸大の作曲科から大学院の指揮科へ進み、その後ドイツへ渡りオペラ指揮者としても活躍

されました。帰国後は関西二期会指揮者、神戸女学院大名誉教授となり、神戸中央合唱団の指揮・指導も多く行っていました。

混声合唱曲「島よ」
 作詩：伊藤海彦
 作曲：大中恩
 指揮：中村仁策^{にきく}
 ピアノ：中村健
 合唱：神戸中央合唱団

<https://www.youtube.com/watch?v=bYzUtG4Z7KA>

健さんが福永先生の目に留まり法政アカデミーのピアニストとして登場したのは1973年、まだ彼が芸大の学生時代。そして1975年のコンクールの神戸大会、法政が初めて金賞を受賞した時のピアニストが健さんであり、自由曲に選んだのが「島よ」の抜粋でした。神戸でのリハーサルには仁策氏も激励に来てくれたことを思い出します。当時私はまだ2年生の学生副指揮で健さんの譜めくり係だったので練習中から可愛がられ、帰宅する方向も一緒だったことから在学中はいろいろな付き合いをさせてもらったものです。77年の3年連続受賞の時のピアニストも彼でした。

75年の法政のコンクール演奏を聴いた仁策氏は子息が福永先生の下で「島よ」の良い経験をしていると認識し、この録音に迷わず起用することを決めたそうです。

伊藤海彦が大海に浮かぶ孤島を擬人化した詩につけた大中恩の「島よ」は1970年芸術祭優秀賞を獲った日本の混声合唱曲を代表する名品であり、仁策氏と神戸中央合唱団の記念碑的録音になったと思います。仁策氏の音楽はバランス重視で悠然としながらも内に熱い情熱を感じるものでいかにも大人の演奏であり、彼と神戸中央合唱団の特色とも言える。そこにスケール感のある健さんのピアノが絶妙の緊張を与えているように聴こえます。素晴らしい演奏です。

その健さんが2020年の1月に急死されたと聞いた時はショックでした。享年69歳、若い日の彼の素晴らしいピアノが聴ける演奏としても記念碑的な録音と言えるでしょう。

【シリーズ バックナンバー】

- ▶ 1 男声合唱組曲「枯れ木と太陽の歌」
- ▶ 2 男声合唱組曲「月光とピエロ」
- ▶ 3 男声合唱組曲「柳河風俗詩」
- ▶ 4 女声合唱組曲「美しい訣れの朝」
- ▶ 5 女声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」
- ▶ 6 混声合唱組曲「嫁ぐ娘に」
- ▶ 7 混声合唱、ヴィブラフォン、ピアノのための「動物の受難」
- ▶ 8 混声合唱組曲「島よ」
- ▶ 9 男声合唱組曲「水のいのち」
- ▶ 10 男声合唱のためのカンタータ「土の歌」


[Back](#)[音楽・合唱TOPへ](#)[Home](#)[HOME PAGEへ](#)